

2023年度 第3回 佐鳴台小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 2023年 10月13日（金） 14時30分から16時00分まで
- 2 開催場所 佐鳴台小学校 コミュニティルーム
- 3 出席委員 辻 博康、野嶋 京登、大西真理子、嶋津 歌絵、羽広 雄太
- 4 欠席委員 橋本 博行、山下さおり
- 5 オブザーバー 望月 慎吾（佐鳴台協働センター）
- 6 学校支援コーディネーター 結城 真澄
- 7 学校 染葉 泰伸（校長）、畠山 徹（教頭）、大石 晴子（主幹）
待井 香世（CS担当教職員）、朝倉 君江（CSディレクター）
- 8 傍聴者 なし
- 9 会議録作成者 CSディレクター 朝倉 君江
- 10 議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、会長から羽広委員を推挙する旨の発言があり、全員意義なくこれを承認した。

11 協議事項

- （1）昼休み等の見守り活動について
- （2）今後の学校支援活動の方向性について

12 会議記録

司会の待井から、委員総数7人のうち5人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

（1）昼休みの見守り活動について

議長の指示により、CS担当教職員の待井から、昼休みの見守り活動について説明があり、委員からは、以下の発言があった。

- ・ 2回ほど活動に参加して子供たちと遊んだが、協働センターで子供に会った際、顔を覚えてくれていた。交流の際に、シニアの方々にちょっとしたメッセージを書ける物を用意してみたい。（嶋津委員）
- ・ 単純にシニアの人数を増やすわけではなく、安心安全を考えて今いるメンバーのパイプを強くしていくのがキーなのかなと思う。（羽広委員）
- ・ 子供が協働センターへ遊びに来て声を掛け合える関係を築きつつある。イベントに関わりなく関わりたい。学校であったことを話してくれたりする女子もいる。（望月オブザーバー）
- ・ 核家族の多いであろう地域。「顔の見える関係」に繋げるのであれば、1ヶ月に1回とかではなく、3回シリーズとかにして練習・練習・本番等はどうか。例えば「盆踊り」とか。（野嶋委員）
- ・ シニアクラブの方々は主旨を理解してくれていて協力的。積極的にというより、学校から依頼があれば協力するといった受動的。各丁目の代表の方の人数集めが大変そう。余裕をもった日付提案をしていきたい。（結城オブザーバー）
- ・ シニアとの交流で盆踊りを練習して、協働センター祭りで発表するなどすると、学校と地域が繋がっている感じがする。（辻委員）
- ・ 回数や人数や内容を増やす、できることから拡充して理想型へ近づけて行きたい。（大西委員）

- ・ 以前、勤務した学校でボランティアルームを作り、来れるシニアの方が来て囲碁や将棋を相手してくれる。部屋の管理は保護者。シニアがいない場合もある。来た子が折り鶴を作って、それを9.11のアメリカに送ったことがある。施設等にも送ったりした。(大西委員)
- ・ 「行きたい」と思ってくれる人に来てもらえると子供たちも楽しいのでは。(大西委員)
- ・ 特に日を決めず来てもらえるよう案内して、安全のためのルールとして来校者に署名してもらうなど、安全マニュアルのようなものを作れば良いのでは。(羽広委員)

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

(2) 今後の学校支援活動の方向性について

議長の指示により、CS担当教職員の待井から、別紙資料に基づき新たな活動報告と今後の学校支援活動の方向性について説明があり、委員からは、以下の発言があった。

- ・ 様々な立場で学校へ出入りしていることで「佐鳴台小の応援団」という共通話題で大人のコミュニティがもてる。(辻委員)
- ・ どの子供を支援するか、もう少し連携できると、自分でも役に立っているんだと思える。午前中仕事、午後学校となると大変な時がある。時間的な間口が広ければ良いと思う。(結城オブザーバー)
- ・ ボランティアさんの様子を把握し、マッチングすることが、継続的に活動するために必要ではないか。(羽廣委員)

協議の結果、全員意義なくこれを承認した。

その他報告事項等

- ・ 「はままつ人づくり未来プラン」実態調査把握について、アンケート提出のお願い
- ・ 次回会議は、令和6年2月16日(金)に開催